



## 宇城市戦没者追悼式へ出席

10月4日（土）、毎年実施されている宇城市戦没者追悼式が「ウイングまつばせ」で行われました。すべての宇城市の小中学校から2名ずつの代表児童生徒が参加するのですが、本校からは例年6年生が参加しています。先の大戦から80年の節目、メディアその他では、「戦争の記憶をいか語り継いでいくか」が課題として報じられています。式典のごあいさつの中でも、多くの方が何度も言及されたことです。このような式に子供たちが参加するのも、その一面があると思います。また、6年生は、修学旅行での平和学習が控えています。参加した2人に感想を聞いてみたところ、「平和は当たり前ものではないと思った」「簡単に戦争なんかしてはいけない」という話をしてくれました。2人の引率をしてくださった保護者の方々も、式典に参加いただき感謝いたします。「平和・戦争の悲惨さ」について、普段の生活の中でも、もっと話題にできればいいなと感じた一日でした。



# 前途洋々

## 郡浦神社例祭参加へ向けて ～ 事前学習に行きました！ ～

10月3日（金）の3・4時間目、5・6年生が郡浦神社へ事前学習に行きました。内容は郡浦神社の歴史（神社の歴史とともに地域の歴史にも触れていただきました）の学習、神輿担ぎの要領の確認などで、2時間でみっちり学んできました。当日はPTA会長の吉川さん、施設環境委員長の森川さんにも参加・お手伝いいただき、大変心強かったです。さて、当日は以下の流れで進めました。



まずは、馬場公民館で、こども神輿の担ぎ方を学年ごとに伝授していただきました。講師は地域の中田さんです。他にも地域の方々が数名いらっしゃいました。何だか胸がわくわくする雰囲気です。



まず、6年生が配置やかけ声の確認をしました。



神社でUターンし、5年生に交代。「わっしょい！」のかけ声も大きく。



実際に、公民館から神社の短い距離を歩いてみました。上手です！



次に、5年生が6年生と同様の確認。どちらもすぐに理解しました。



前川宮司様からお祭りの意味などを教わりました。子供たちからはいろいろな質問が出ました。

神社の池のスイレンがとても美しい紫色で、思わずパチリ。繊細な模様が付いていました。

